

## 関東森林管理局入札等監視委員会審議概要

(Webサイト掲載日:平成31年4月16日)

開催日及び場所		平成31年3月18日(月) 関東森林管理局 2階小会議室		
委員		金井 孝純(公認会計士) 田島 聡子(ジャーナリスト)		
審議対象期間		平成30年10月1日~12月31日		
審議対象案件		73件	うち、1者応札案件 27件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 3件	
抽出案件		6件 (抽出率 8.2%)	うち、1者応札案件 5件 (抽出率 18.5%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件 (抽出率 33.3%)	
抽出案件内訳	工事	一般競争	1件	うち 1者応札 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		指名競争	公募型指名競争	該当なし
			工事希望型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
	随意契約	0件		
	業務	一般競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		指名競争	公募型競争	該当なし
			簡易公募型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
		随意契約	公募型プロポーザル	該当なし
			簡易公募型プロポーザル	該当なし
			標準型プロポーザル	該当なし
	その他の随意契約		0件	
	物品・役務等	一般競争	4件	うち、1者応札案件 3件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		指名競争	該当なし	
		随意契約(企画競争・公募)	該当なし	
		随意契約(その他)	0件	
	(特記事項) 高落札率又は低落札率の案件を抽出して審議			
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答等	
	○(B002林道工事)入札公告の時期を早くすることはできなかったのか。		○本工事は昨年度の補正予算により事業が決定されたが、工事の詳細仕様を作成する調査設計も同補正予算により措置されたため、早々に調査設計を契約して完了後に速やかに本工事の公告等を進めたが既に第3四半期に入ってしまった。	
	○(B002林道工事)入札にかける前に、競争参加資格者へ事前連絡を行うようなことはないのか。 また、入札参加者を増やす努力は行っているのか。		○網紀保持の観点から、入札公告前に一部の有資格者のみへの事前連絡は行っていない。 なお、予算成立後、早い段階で各事業の「発注見通し」を公表し、入札公告以前でも事業の発注がある旨予告しているところであり、入札参加者の増加へとつながっていると史料。	
	○(D002治山コンサル)この時期に発注した理由はないか。		○他の調査業務の入札差金を集めて発注したため、第3四半期の発注となった。なお、本調査は治山事業の今後の計画を森林計画に反映させるための調査であるため当該年度に実施したものである。	

<p>委員からの意見・質問、それに対する回答等</p>	<p>○(D002治山コンサル)各種単価を公表しているとのことであるが、公表しなければいけないものなのか。単価を公表することで予定価格が類推しやすくなるのではないのか。</p> <p>○(D002治山コンサル)本件では、契約に至ったものを審議しているが、公告後入札参加者がいなかった場合、再公告するのか。</p> <p>○(J012収穫調査委託)指定調査機関はどの程度登録されているのか。</p> <p>○(J012収穫調査委託)原発事故による避難指示区域の解除により森林整備の事業量は増加したのか。</p> <p>○(N006地拵)伐採後、植林まではどの程度期間を空けるのか。</p> <p>○(N006地拵)昨年も同じような内容の事業を発注しているとのことであるが、昨年も同様の業者が落札したのか。</p> <p>○(N024松くい虫防除)松くい虫防除事業は、例年、この時期に行うのか。</p> <p>○(N024松くい虫防除)ジェネリック農薬の有効性の保証はあるのか。</p> <p>○(N024松くい虫防除)今回、落札業者はジェネリック薬品を使用することにより価格を抑えることができたようだが、今後は、ジェネリック薬品の価格を予定価格に反映されることとなるのか。</p> <p>○(N024松くい虫防除)松くい虫防除事業を受注する業者は、多数存在するのか。</p> <p>○(N026修景伐採)修景伐採はこの時期に実施しなければいけないものなのか。</p> <p>○(N026修景伐採)修景伐採は技術的に難しい作業なのか。</p>	<p>○発注工事や調査業務の品質を確保するため、必要な人件費や資材単価を公表しており、入札参加希望者はおおよその予定価格を把握することができる状況にある。</p> <p>おおよその予定価格を把握できることで、入札参加希望者は自社努力により低減できる価格の積算が容易となり、結果的に入札参加者の競争性を確保する仕組みとしている。</p> <p>○入札不調や不落になった場合、業務の履行期間等を考慮し再広告、随意契約又は繰越をするかどうか判断することとなる。</p> <p>○関東森林管理局管内には9者登録されている。</p> <p>○これまで実施できなかった事業を再開することとなったため、実施できなかった期間に比べ増加している。</p> <p>本件については、来年度の事業量につながる調査であるため、事業再開する地域において収穫調査を委託発注しているところ。</p> <p>○伐採後期間を空けずに早く植栽することで、雑かん木の繁茂による植栽しにくい状況や植栽木の生長そのものを阻害する影響を回避することができる。</p> <p>○白河支署管内で昨年も同様の事業を発注しているが、落札業者は今年度とは違う業者となっている。</p> <p>なお、一般競争入札であるため、毎年同じ業者が落札するとは限らない。</p> <p>○薬剤注入の実施効果が高い時季は、マツノマダラカミキリの成虫が発生する2ヶ月前までであり、冬期から春先の時季に薬剤注入を実施することとしている。</p> <p>○薬剤注入する農薬は、薬効等の品質を農林水産大臣が認め農薬登録票に登録されたもののみを使用することとしている。</p> <p>本件で使用されている薬品も農薬登録されており、有効性に問題はない。</p> <p>○今後、ジェネリック農薬の使用が進み、一般的になれば予定価格を積算する際の因子として反映することとなる。</p> <p>○松くい虫防除事業を実施する業者の絶対数が多い訳ではないが、造林事業や土木工事に比べ、広域で事業を受注している実態にあり、今回の入札でも他の地域の事業者が参入している。</p> <p>○本件は、東京都内に所在する高尾山の登山道の修景伐採であり、入り込み者が非常に多い場所であるため、作業に当たり入り込み者が少ない時期や木本類の生長休止期などを考慮し、冬期の作業として発注とした。</p> <p>○登山道として手すりや路盤を整備された箇所隣接した場所での伐採であるため、登山道等の施設保護のため伐倒方向や伐採方法の選定に高度な技術を要し、一般的な林内での伐倒作業に比べ、技術的困難度は高い作業である。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>特になし</p>	

関東森林管理局入札等監視委員会苦情処理会議審議概要

開催日及び場所	平成31年3月18日（月） 関東森林管理局2階小会議室			
委員	金井孝純（公認会計士） 田島聡子（ジャーナリスト）			
再苦情申立概要	申立日	件名	契約方式	契約月日
	H . .			H . .
	内容等  該当なし			
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答	
委員会による意見の具申又は勧告の内容				